

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（言語科学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（）
出題の意図	言語科学専修の試験問題は、英語学、ドイツ語学・ゲルマン語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学、言語学、言語情報学、国語学の7分野から成っており、どれかひとつの分野の問題を選択して解答することになっている。いずれも学部教育で習得すべき基礎知識と大学院での研究に必要な能力を問う内容であり、専門用語および設問形式による基本概念の解説と応用、各分野の資料に基づく専門的な解釈を織り交ぜて出題している。

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 言語科学 全10枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 10 枚、解答用紙 2 枚を配付する。

解答における注意

専門試験 言語科学 の問題は下記の7つの出題範囲からなっており、この順番に並んでいます。この中から志望する分野に応じて、ひとつの出題範囲だけを選択して解答してください。複数の出題範囲にまたがって解答してはいけません。問題の形式は出題範囲によって異なることがありますので、各出題範囲の指示に従って解答してください。

出題範囲

英語学
ドイツ語学・ゲルマン語学
フランス語学・ロマンス語学
ロシア語学
言語学
言語情報学
国語学

[英語学]

英語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答して下さい。

設問 I（英語学）

1. 次の用語を具体例を挙げながら日本語または英語で簡潔に説明しなさい。

- (1) relevance
- (2) free indirect speech
- (3) affricate
- (4) prototype
- (5) poverty of stimulus

2. He was thinking about the plan.と He was thinking over the plan.の統語構造の違いについて以下のデータに言及しながら論じなさい。

- (a) *He was thinking the plan about.
- (b) He was thinking the plan over.
- (c) It was about the plan that he was thinking.
- (d) *It was over the plan that he was thinking.
- (e) Was he thinking about our plan or about theirs?
- (f) *Was he thinking over our plan or over theirs?

3. 次の日本語を英訳しなさい。

***問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典：山梨正明 (2015) 『修辞的表現論』、開拓社、p.90

設問Ⅱ（英語学）

次の英文を読み、下の問いに答えなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

（出典：Betty Birner and Gregory Ward 1994 “Uniqueness, Familiarity, and the Definite Article in English” *Proceedings of the Twentieth Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society*, pp. 97-98）

- 問1 下線部(1)を和訳しなさい。
- 問2 例(10)の the の使用が適切であるにもかかわらず例(11)の下線部(2)の the の使用が不適切となる理由を本文に即してわかりやすく解説しなさい。
- 問3 本文の議論を参考にして“While in Santiago, she broke her foot and had to spend a week in *the big hospital.*”という発話の the の使用が適切か不適切かを答えなさい。つぎにその判断の理由を本文に即して述べなさい。

[ドイツ語学・ゲルマン語学]

ドイツ語学・ゲルマン語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問 I（ドイツ語学・ゲルマン語学）

次の問 1～5 からどれかひとつを選択して解答しなさい。

問 1 次のドイツ語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Thorsten Roelcke. *Geschichte der deutschen Sprache*. München. Beck. 2009: 33f.

問 2 次のオランダ語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Groot *Nieuws Bijbel*. Nederlands Bijbelgenootschap. Haarlem/Katholieke Bijbelstichting. 's-Hertogenbosch. 1999: 251

問 3 次のスウェーデン語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Bibeln. Svenska Bibelsällskapet. Stockholm. 1982: 448f.

問 4 次のデンマーク語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Bibelen. Det Danske Bibelselskab. København. 1998: 1304

問 5 次のノルウェー語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Bibelen. Bibelselskapets Forlag. Oslo. 1987: 295

設問 II（ドイツ語学・ゲルマン語学）

次の問 1 と問 2 に日本語で解答しなさい。

問 1 「設問 I」の問 1～5 の文章からどれかひとつを選んで、冒頭の 2 つの文を国際音声字母 (IPA) を用いて表記しなさい。必要に応じて、適宜、説明を加えてもかまいません。

問 2 ドイツ語の命令表現について説明しなさい。

[フランス語学・ロマンス語学]

フランス語学・ロマンス語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問 I (フランス語学・ロマンス語学)

以下の専門分野に関する問題 1～3 より 1 題を選択し、問題番号を明記の上解答しなさい。

1. 以下のフランス語の文章を日本語に訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Walther von WARTBURG, 1993, *Evolution et structure de la langue française*, Editions Francke, Tübingen et Basel, p.35.

2. 以下のスペイン語の文章を日本語に訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Rafael CANO(coord.), 2004, *Historia de la lengua española*, Editorial Ariel, Barcelona, pp.88-89.

3. 以下のイタリア語の文章を日本語に訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Claudio MARAZZINI, 2004, *Breve storia della lingua italiana*, il Mulino, Bologna, p.39.

設問Ⅱ（フランス語学・ロマンス語学）

以下の文章を、専門とする言語（フランス語・スペイン語・イタリア語のいずれか）に訳しなさい。

ことばは人間という種に固有のものである。確かにそれぞれ固有のコミュニケーションのシステムをもっている動物は存在する。しかし、人間にはそれらを獲得し、理解し用いることはできないし、同様に他の動物には人間のことばを獲得し、人間と同じように創造的に理解し用いることはできないのである。生まれてから3, 4年という短期間に人間がことばを獲得できるのはなぜか、そしてことばが人という種に固有であるのはなぜかという疑問が生じる。

[ロシア語学]

ロシア語学の問題は、「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。両方の設問に解答してください。

設問Ⅰ（ロシア語学）

ロシア語の形動詞の形態と用法について、4つに区分して詳しく説明しなさい。それぞれの用法についてロシア語の例文を3つ以上入れて、説明すること。

設問Ⅱ（ロシア語学） 次の文を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Багрянцева В.А. и др., «Русский язык», М., 2011. С.310-311.

[言語学]

言語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問Ⅰ [言語学]

次の複文は、すべて原因・理由の従属節をもっている。例のうち、(1)と(2)は、接続助詞「-て」と「-から」節が両方成立するのに対して、(3)~(4)の例は「-から」節は成立するが、一方の「-て」節は非文になる。その理由として考えられることについて、自由に述べなさい。また日本語以外の他の言語にも類似した例があれば、取り上げて説明しなさい。

- (1) 風邪を引いて会社を休んだ。
風邪を引いたから会社を休んだ。
- (2) 遅刻して先生に怒られた。
遅刻したから先生に怒られた。
- (3) *遠くてバスで行きましょう。
遠いからバスで行きましょう。
- (4) *危なくてやめなさい。
危ないからやめなさい。

設問Ⅱ [言語学]

以下の用語から5つを選び、具体的な例をあげて説明しなさい。

- a. 自由変異 (free variation)
- b. 側面接近音 (lateral approximant)
- c. 対格言語 (accusative language)
- d. 時制 (tense)
- e. 文法化 (grammaticalization)
- f. 再建 (reconstruction)
- g. 二重分節 (double articulation)
- h. ピジン (pidgin)

[言語情報学]

言語情報学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。両方の設問に日本語で解答してください。

設問Ⅰ（言語情報学）

問1. 形態素解析のアルゴリズムであるコスト最小法についての以下の説明の括弧部分①②③⑤⑥には、コストの計算法が書かれているものとする。②③⑤⑥の説明を解答用紙に書いてください。例を設定して図示してもかまいません。

1. 仮想的なノード[文頭]を用意し、形態素解析結果を表すラティス（格子）の先頭とする。入力文字列中の単語頭を示すポインタを用意し、初期値を入力文字列の先頭とする。（①[文頭]ノードの最小コストを0とする。）
2. ポインタの位置から始まる入力文字列の語を単語辞書と照合して取りだし、ノードとして追加する。（②）
3. ポインタ位置で終わるノードの語とポインタ位置から始まるノードの語との接続可能性を調べて、接続可能なノード間にリンクを張る。（③）
4. ポインタ位置を一文字文末側にずらして、文末を越えなければ、2へ戻る。
5. [文末]ノードを追加し、ポインタ位置で終わるノードの語と文末との接続可能性を調べて、接続可能なノード間にリンクを張る。（⑤）
6. [文頭]ノードから[文末]ノードに至るパスが解析候補となる。（⑥）

問2. 入力文字列が仮名（および句読点）のみであれば、このアルゴリズムは仮名漢字変換のアルゴリズムとして使用することができる。仮名漢字変換のヒューリスティクスとして文節数最小法というものがあるが、それはどのようなものか、また、コスト最小法とどのような関係にあるか解説してください。

問3. コスト最小法を実用にできるかどうかは、単語辞書と単語接続コストとをどのように設定するかということにかかっている。各々の問題に対する対処法について、知るところあるいは考えを書いてください。

設問Ⅱ（言語情報学）

日本人工知能学会では、コンピュータに小説（ショートショート）を書かせるプロジェクトを開始した。ストーリーの枠組みは人間が与えるが、テキスト本文はコンピューターが生成するものであるという。このようなプログラムをどのように構成すればよいか、また、どのような未解決の問題があるかについて、言語学・情報学の立場から論じてください。

[国語学]

国語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問Ⅰ

A 次に掲げる1から4の項目について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- 1 蝸牛考 2 連濁 3 訓点語 4 群書新定字様

B 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。（表記は可能な限り原文に近いものとした。）

延政門院 いとさなくおはしましける時 院へまいる人に ことつとて申させ給ける御歌
ふたつも^ま牛の角もじすぐなもじゆがみもじとぞ君はおぼゆる
とこいしくおもひまいらせ給ふと也

（烏丸本『徒然草』第62段）

（注）「延政門院」：後嵯峨院第二皇女、悦子内親王。「院」：後嵯峨院の仙洞御所。

- 1 全文の大意を述べなさい。
2 下線部「こいしく」は「恋しく」の意味であって歴史的仮名遣いでは「こひしく」が期待されるが、烏丸本『徒然草』の原文において「こいしく」と表記されている。その理由について、言語史研究の観点から説明しなさい。

C 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。【】内は原文では小字割注である。

所謂俗者例皆淺近唯籍帳文案券契藥方非涉雅言用亦無爽儻能改革善不可加
所謂通者相承久遠可以施表奏牋啓尺牘判狀固免詆訶【若須作文言及選曹銓試兼擇正體用之尤佳】
所謂正者竝有憑據可以施著述文章對策碑碣將爲允當【進士考試理宜必遵正體明經對策貴合經注
本文碑書多作八分任別詢舊則】

（唐・顔元孫『干祿字書』）

- 1 一重下線部を漢字片仮名交り文として読み下しなさい。
2 二重下線部を現代語に訳しなさい。

設問Ⅱ

「五十音図」は、いつ、だれが、何のために作成したものなのか、言語史研究の観点から説明しなさい。